



MP-76

重要 - 安全のための注意事項	1
EMC/EMI	2
本書で使用する記号	2
このマニュアルについて	3
イントロダクション	3
セットアップ	4
MP-76 と VoiceLive 3	6
MP-76 と VoiceLive Touch 2	7
MP-76 と VoiceSolo FX150	8
MP-76 と Play シリーズ製品	9
仕様	10
サポート	10

Product	MP-76
Product (firmware) version	1.0
Document	Japanese Manual - 日本語マニュアル
Document version / date	2015-01-08

重要 - 安全のための注意事項

1. 注意事項をお読みください。
2. 注意事項の書類は手の届くところに保管しておいてください。
3. 全ての警告をお守りください。
4. 全ての指示に従ってください。
5. 本機器は水の近くで使用しないでください。
6. 掃除には、乾いた布のみを使用してください。
7. 換気口は塞がないようにしてください。製造者の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブをはじめ、熱を発生する機器（アンプを含む）の近くに設置しないでください。
9. 有極プラグやアース付きプラグは安全性を確保するための構造です。無効にしないでください。有極プラグは、二本のブレードのうち、一方が幅広になっています。アース付きプラグは、二本のブレードと、一本のアース棒が付いています。幅広のブレードおよびアース棒は、使用者の安全を守るためのものです。製品に付属するプラグがコンセントの差し込み口に合わない場合は、電気工事業者に相談し、古いコンセントを新しいものと交換してください。
10. 電源コードは、特に差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分において、人に踏まれたりはさまれたりしないように保護してください。
11. アクセサリーや装着器具は、製造者指定のもののみをご使用ください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、この装置用に販売されているもの、または製造者が指定するもののみを使用してください。カートを使用する場合は、機器を載せて移動する際に、機器の落下や怪我に注意してください。



13. 雷雨の発生中または長期間使用しない場合は、本機器のプラグをコンセントから抜いてください。
14. 保守整備は、必ず資格を持ったサービス技師にご依頼ください。電源コードやプラグの損傷、機器に液体がかかったまたは異物が入り込んだ場合、機器が雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、機器を落とした場合など、機器が何らかの状態で損傷した場合には保守整備が必要です。

注意

本マニュアルに明示されていない本体への変更・改造を行った場合、本機器を操作する資格を失うことがあります。

保守整備（サービス）

- ▶ 保守整備は、必ず資格のある作業担当者が実施してください。

警告

- ▶ 火災や感電のリスクを軽減するために、機器を雨や湿気にさらさないでください。花瓶等液体の入ったものを機器の上に置かないでください。閉じられた空間に設置しないでください。

EMC/EMI

Electromagnetic compatibility/
Electromagnetic interference

本機器は FCC 規準 Part 15 に準ずる Class B デジタル機器の制限事項に適合するための試験に合格しています。

これらの制限事項は、居住地域での設置時に生じる有害な電波障害を規制するために制定されたものです。本機器は無線周波エネルギーを生成・使用しており、これを放射することがあります。指示に従った設置と使用を行わないと、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況において電波干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本機器の電源を立ち下げてから再度立ち上げてください。障害を及ぼすことがわかった場合、次の方法で干渉の解消を試みることを推奨します。

- ▶ 受信アンテナの向き、設置場所を変更する
- ▶ 本機器と受信機の距離を遠ざける
- ▶ 本機器を受信機と別の系統の電源回路に接続する
- ▶ 販売代理店、または経験のある無線／TV の技師に相談する

For customers in Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

本 Class B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

本書で使用する記号



三角形に括られた矢印付きの落雷マークは、接触すると感電の恐れがある、危険な高電圧の絶縁されていない部品が機器内部に配置されていることを示します。



三角形に括られた「!」サインは、機器を操作またはサービス作業を実施するうえで重要な指示が、製品に付属の文書類に記載されていることを示します。

このマニュアルについて

本マニュアルは、Mic Control 対応の MP-76 パフォーマンス・マイク ロフォンの機能と操作についての情報が含まれます。

本マニュアルは、PDF 形式のみで配布されています。マニュアルは、TC-Helicon ウェブサイトで公開されています。

本 PDF マニュアルは内部及び外部ハイパーリンクを含みます。例えば、ページ左上の TC-Helicon ロゴをクリックすると、目次に移動します。

重要な情報を見落とすことのないよう、マニュアルは全体を通してお読みください。

マニュアルの最新版は、次の URL から入手できます。

tc-helicon.com/products/mp-76/support/

Enjoy your TC-Helicon product!

イントロダクション

この度は、TC-Helicon MP-76 マルチスイッチ・マイク ロフォンをお買い上げいただき、ありがとうございます。

ヴォーカリストにとって、ステージ上での動きは、観客を引きつける最も重要な演出手法の一つです。

MP-76 は、マイクで直接ヴォーカル・プリセットやエフェクト、ルーピングといった操作を可能とすることにより、ステージ上でのビジュアルな演出を犠牲にすることなくサウンド面での表現力を上げます。

MP-76 は 4 つのボタンを搭載し、一つの立ち場所に固定されることなく、自在に対応ヴォーカル・プロセッサを操ることができます。

Thanks,

The TC-Helicon Team

主な特徴

- ▶ スーパーカーディオイドの指向特性
- ▶ 卓越したポップとブレスノイズのリジェクション性能
- ▶ 優れたバックグラウンド・ノイズ・リジェクションとフィードバック耐性
- ▶ 「クローズアップ」マイク・テクニク向けにヴォイスシングされたリズマー™ ダイナミック・カプセル
- ▶ サスペンデッド・デュアル・ショックマウントによる低ハンドリング・ノイズ
- ▶ TC-Helicon ヴォーカル・エフェクト・プロセッサをコントロールするための、4 ボタン構成の Mic Control 回路
- ▶ 堅牢、且つエルゴノミクスに配慮したデザイン

セットアップ

Ready…

次の付属品をご確認ください。

- ▶ MP-76 マイクロフォン本体 x 1
- ▶ マイク・クリップ x 1
- ▶ キャリング・ケース x 1

搬送時の破損がないことを確認します。万一破損が確認された場合は、配送業者と発送元にご連絡ください。製品の外箱と梱包材は保存しておいてください。万一搬送時に破損が生じた場合の証明として必要となる場合があります。

Set…

- ▶ MP-76 から、接続先の機器に XLR ケーブルを接続します。
- ▶ 以上です！

推奨ケーブル

MP-76 と接続機器のケーブル長は **7.5 メートル以下**を推奨します。それ以上の長さのケーブル、またはスネークの使用は、Mic Control 機能の誤動作や、ラインノイズ発生の原因となります。

Mic Control 機能

Mic Control ™は、TC-Helicon により発案された特許技術です。Mic Control 対応マイクロフォンである MP-76 を使用することで、ステージのどこからでも TC-Helicon のヴォーカル・プロセッサを操作できるようになります。

Mic Control 機能を使用するには、ヴォーカル・プロセッサ側で Mic Control 機能をオンにする必要があります。設定手順は機種によって異なります。

対応製品は次の通りです。製品名をクリックすると、マニュアルの該当セクションに移動します。

- ▶ [VoiceLive 3](#)
- ▶ [VoiceLive Touch 2](#)
- ▶ [VoiceSolo FX150](#)
- ▶ [Play Acoustic](#)
- ▶ [Play Electric](#)
- ▶ [VoiceLive Play](#)

一部の TC-Helicon 製品では、大型のボタン 1 つのみが有効で、他のボタンは無効となります。MP-76 は、これらの機種との組み合わせにおいて、実質 MP-75 と同じ状態になります。

- ▶ [VoiceLive 2](#)
- ▶ [VoiceLive Touch](#)
- ▶ [VoiceLive Rack](#)
- ▶ [VoiceTone シリーズ 2 スイッチ・ペダル](#)

MP-76 LCD

ほとんどの対応製品との組み合わせにおいて、MP-76 の LCD にはプロセッサ側の現行プリセット番号が表示されます。HIT 機能を搭載した製品を接続している場合、HIT がオンの際には MP-76 の LCD に「:」と表示されます。

MP-76 と VoiceLive 3



VoiceLive 3 が最新のファームウェアで起動していることをご確認ください。デバイスのファームウェア・アップデートは、VoiceSupport ソフトウェアで行います。VoiceSupport のダウンロード URL は次の通りです。

tc-helicon.com/products/voicesupport/

VoiceLive 3 側で Mic Control をオンにする手順は次の通りです。

- ▶ SETUP を押します。左右矢印ボタンで INPUT タブを選択します。コントロール・ノブで INPUT TYPE パラメーターを選択します。
- ▶ 画面下、右端のミックス・ノブで INPUT TYPE を MP-76 に設定します。

MP-76 側のボタンに機能を割り当てる操作手順は次の通りです。

- ▶ SETUP を押します。
- ▶ 左右矢印ボタンで BUTTONMAP タブを選択します。
- ▶ コントロール・ノブで UP ボタン・パラメーターを選択します。
- ▶ パラメーター表示下のミックス・ノブで、UP ボタンを押した際のターゲット（実行される操作）を指定します。
- ▶ MIC SWITCH MODE パラメーターで、操作のタイプを選択します。選択肢は、Latched（ラッチ）と Momentary（モメンタリー）です。
 - ▶ ラッチ時のボタンの反応は次の通りです。
ボタンを押すと、ターゲットがオンになります。
再度ボタンを押すと、ターゲットがオフになります。
 - ▶ モメンタリー時のボタンの反応は次の通りです。
ボタンを押している間、ターゲットがオンになります。
ボタンを離すと、ターゲットがオフになります。
- ▶ 同様の手順で、Left（左）／Right（右）／Down（下）各マイク・ボタンの設定を行います。

以上です！

MP-76 と VoiceLive Touch 2



VoiceLive 2 が最新のファームウェアで起動していることをご確認ください。デバイスのファームウェア・アップデートは、VoiceSupport ソフトウェアで行います。VoiceSupport のダウンロード URL は次の通りです。

tc-helicon.com/products/voicesupport/

VoiceLive 2 側で Mic Control をオンにする手順は次の通りです。

- ▶ SETUP を押します。スライダー FX バーの左右矢印ボタンで INPUT タブを選択します。マトリクス左上のボタンで INPUT パラメーターを選択します。
- ▶ スライダー FX バーで INPUT を MP-76 に設定します。

MP-76 側のボタンに機能を割り当てる操作手順は次の通りです。

- ▶ SETUP を押します。
- ▶ 左右矢印ボタンで MIC CONTROL タブを選択します。
- ▶ マトリクスで UP ボタン・パラメーターを選択します。
- ▶ スライダー FX バーで、UP ボタンを押した際のターゲット（実行される操作）を指定します。一部の項目は「Momentary」（モメンタリー）の表記がタイトルに含まれます。モメンタリー時のボタンの反応は次の通りです。ボタンを押している間、ターゲットがオンになります。ボタンを離すと、ターゲットがオフになります。
- ▶ 同様の手順で、Left（左）／Right（右）／Down（下）各マイク・ボタンの設定を行います。

以上です！

MP-76 と VoiceSolo FX150



VoiceSolo FX150 が最新のファームウェアで起動していることをご確認ください。デバイスのファームウェア・アップデートは、VoiceSupport ソフトウェアで行います。VoiceSupport のダウンロード URL は次の通りです。

tc-helicon.com/products/voicesupport/

VoiceSolo FX150 側で MP-76 用に Mic Control 機能をオンにする手順は、VoiceSolo FX150 レファレンス・マニュアルページ 35 に記載されている MP-75 用の手順と同じです。

- ▶ VoiceSolo FX150 の +48V ボタンがオンになっていることをご確認ください。
- ▶ Mic Control 対応マイクを接続しているチャンネルの REVERB ボタンをホールド（長押し）します。

FX150 が MP-76 の Mic Control 機能に対応するのはチャンネル 2 のみとなりますので、ご注意ください。MP-76 と FX150 の組み合わせにおける、MP-76 ボタンの機能割り当ては固定です。

- ▶ 上ボタン：リバーブ・オン／オフ
- ▶ 左ボタン：ボリューム・ダウン
- ▶ 右ボタン：ボリューム・アップ
- ▶ 下ボタン：ミュート

MP-76 と VoiceSolo FX150 の 組み合わせにおける MP-76 の LCD 表示

MP-76 の LCD には通常プリセット番号が表示されますが、VoiceSolo FX150 にはプリセットがないため、チャンネル 2 のレベルが表示されます。チャンネル 2 がミュートされている状態では、MP-76 のディスプレイはレベルを「0」と示し、表示が点滅します。

MP-76 と Play シリーズ製品



Play Acoustic、Play Electric または VoiceLive Play 側で Mic Control をオンにする手順は次の通りです。

- ▶ SETUP を押します。
- ▶ 左右矢印ボタンで INPUT タブを選択します。
- ▶ MIC TYPE パラメーターを、その表示隣のソフト・ボタンで選択します。
- ▶ コントロール・ノブで MIC TYPE を MP-76 に設定します。

MP-76 側のボタンに機能を割り当てる操作手順は次の通りです。

- ▶ SETUP を押します。
- ▶ 左右矢印ボタンで MIC CONTROL タブを選択します。
- ▶ UP ボタン・パラメーターを、その表示隣のソフト・ボタンで選択します。
- ▶ コントロール・ノブで、UP ボタンを押した際のターゲット（実行される操作）を指定します。
一部の項目は「Momentary」（モメンタリー）の表記がタイトルに含まれます。モメンタリー時のボタンの反応は次の通りです。
ボタンを押している間、ターゲットがオンになります。
ボタンを離すと、ターゲットがオフになります。
- ▶ 同様の手順で、Left（左）／Right（右）／Down（下）各マイク・ボタンの設定を行います。

以上です！

仕様

- ▶ マイク・タイプ：ダイナミック
- ▶ 指向特性：スーパーカーディオイド
- ▶ インピーダンス：300 Ω
- ▶ 感度：-54 dBV/Pa (1.99 mV) – 1 Pa
= 94 dB SPL @ 1 kHz
- ▶ 周波数特性：50 Hz ~ 18 kHz
- ▶ 質量：290 g
- ▶ 寸法
高さ：185 mm
直径（最大）：50 mm

仕様は予告なく変更されることがあります。

サポート

このマニュアルを読んだ後で本機の操作等についてご質問がございましたら、**TC-Helicon サポート**までご連絡ください。

tc-helicon.com/support/

